

東日本旅客鉄道赤羽線(十条駅付近)連続立体交差事業について 「事業の概要に関するご意見・ご質問用紙」でお寄せいただいた 主な概要及びその回答

○概要

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、用地補償説明について集会形式での開催を見送り、関係書類の送付とアンケートを用いて、ご意見・ご質問を頂戴する形式にて実施。
- ・資料郵送・配布：令和2年11月24日郵送・令和2年11月27日配布
- ・郵送・配布数量：180名郵送・約200件配布
- ・ご意見・ご質問募集期間：令和2年12月11日まで

○説明資料（配布資料）

- ・東日本旅客鉄道赤羽線（埼京線）十条駅付近の連続立体交差事業について
- ・東京都市計画道路事業東日本旅客鉄道赤羽線附属街路（鉄道附属街路）【北区事業】
- ・用地補償のあらまし
- ・事業の概要並びに用地補償の概要（説明資料）
- ・用地補償と個別相談に関するアンケート
- ・事業の概要に関するご意見・ご質問用紙



十条連立パンフレット ご意見・ご質問用紙

○連立事業に関するご意見・ご質問の主な概要及びその回答

Q1

駅のホーム構造は、相対式ではなく、島式にした方が良いのではないかと。

また、高架橋の遮音についてどのように考えているのか。

A1

駅のホーム構造は、配線計画等を考慮し、現状のとおり相対式で整備します。

高架橋の遮音につきましては、東京都環境影響評価条例に基づく環境影響評価を踏まえ対応します。

東日本旅客鉄道赤羽線(十条駅付近)連続立体交差事業

Q2

渋滞の緩和等の対策には、地下化もしくは道路を持ち上げる立体交差が良いと思う。

A2

立体化の構造形式は、鉄道周辺の地形などの地形的条件、除却する踏切の数などの計画的条件、事業費や事業期間などの事業的条件、これら3つの条件を基本として総合的に判断し、高架方式を選定しています。

本事業の実施により、補助第85号線などの6か所の踏切が一挙に除却され、踏切での交通渋滞の解消、道路と鉄道それぞれの安全性の向上が図られます。さらに、鉄道を高架化することにより地域分断の解消が図られ、一体的なまちづくりが進むなど沿線地域の活性化に寄与します。

Q3

ホーム延長は現状10両対応であるがホーム延長は変わるのか。

A3

変わりません。

Q4

仮線化、高架化の完了時期は、工事着手からどの程度を予定していますか。

A4

工事着手から上下線の仮線化完了までに約4年、仮線化完了から高架化完了までに約6年の期間を予定しています。

様々なご意見を頂き、ありがとうございました。頂いたご意見を踏まえ、今後の事業を進めてまいります。

今後とも、事業へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。